
繫ぎ糸

音琴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

繫ぎ糸

【Zコード】

Z3357BA

【作者名】

音琴

【あらすじ】

前世の記憶を持つて生まれただけの、何の能力も持たない人たちによる『家族』になるまでの話。

ある意味、生まれた時、そばにいた家族より『家族』が大好きな人たちの話。

『家族』って何を定義にして言つ言葉何だらつ。

例えば、子どもが産めない夫婦がいて、親に捨てられてしまった子供を一人、養子にとつたとする。

この子どもは家族の一人と数えられるだらうか。

例えば、いつも喧嘩ばかりの仲の悪い夫と妻。
これは家族と言えるのだろうか。

答えは簡単。それは人それぞれだ。

家族と言う者もそうじやないと言う者もいるだらう。定義は人の数だけ、考え方の違いのぶんだけある。

そんな事を考え出した私の定義は一瞬でも『家族』と認めあつた時があつたなら、立派な家族だというものだ。

友達からは「今時おかしいわよ、それ」と言われるほどだけ。
仕方ない、私は『家族』と言うものが好きなのだから。

だから、私に前世の記憶があつて（自分でもおかしいことを言つて
る自覚はあるよ？でも本当のことだし。
たまたま、私と同じクラスの委員長の猫柳音語ねいやなみねいごがその前世の私の夫
に瓜二つなのに気づいてしまつたら

『家族』として接してしまいそうになるのは……仕方ないことだよ

ね
?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3357ba/>

繫ぎ糸

2012年1月8日18時46分発行